

平成 29 年度 事業計画

1 基本方針

我が国は世界でもトップクラスの長寿国となり「健康で長生きしたい」という願いを実現した国となりましたが、少子高齢化の進展により既に 4 人に 1 人が高齢者となり、世界で最も高齢化が進んだ国にもなりました。

一方、人口については国立社会保障・人口問題研究所の日本の将来推計人口において、我が国の人口は今後も減少し続け、2048 年には 9,913 万人と 1 億人を割り込み、2100 年には 4,959 万人と 5,000 万人を下回る見込みとなっています。

これからの人口減少局面においては、急速な高齢化を伴うこととなり、2060 年時点では約 2.5 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者となる見込みです。

このように人口減少が進み、高齢化率が高まる中において、シルバー人材センターは高齢者の就業機会の確保のための基盤として一定の機能を果たしていますが、高齢者の就業のニーズが変化し多様化してきている現状に対応するため、地域の課題に対応した多様な就業機会を掘り起こして会員に提供する仕組みを作っていくことが大きな課題であると言えます。

国において閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」のロードマップでは、保育サービスや介護サービスの担い手を提供する場として、シルバー人材センターが掲げられており、西脇市並びに多可町からも今年度より実施される介護予防・日常生活支援総合事業の担い手として、期待が寄せられております。

当センターにおける最近数年間の状況は、契約金額は平成 25 年度まで減少し平成 26 年度から若干の増加傾向にありましたが、昨年より再度減少傾向となりました。これは、地域経済の低迷が影響しているものと思われます。

また、センターの発展に欠かすことのできない会員数につきましても、減少傾向となっており平成 24 年度より 1,000 人を下回る状況が続いています。

センターの安定した経営のためにも「会員数の拡大」と「就業機会の確保・拡大」に努めることがますます重要になっております。

今年度も、中期事業計画に沿って、高齢者の生きがいがづくり・居場所づくりなど地域になくってはならない存在としての役割を果たすために「自主・自立、共働・共助」の理念に基づき、会員・役員・職員が互いに協力し、会員拡大の推進や就業機会の開拓、適正就業の推進等に取り組んでまいります。

2 事業内容

(1) 中期事業計画の推進

高齢者が持てる能力に応じて生きがいを追求しながら働くことができるシルバー事業は、超高齢社会の課題を解決する事業の一つと考えられます。

地域社会に密着した仕事を、会員の皆様のご希望等により斡旋し就業することにより、福祉の受け手から社会の担い手として活躍することが期待されています。

今後ともシルバー事業の前途には様々な課題が立ちはだかると考えられますが、「自主・自立、共働・共助」の理念を大切にし、会員・役職員が協力して中期事業計画の推進に取り組みます。

(2) 安全就業の推進

ア 昨年度改訂し、全会員に配布した安全・適正就業ハンドブックの活用やセンターだより並びに事務局だよりの発行による啓発、事故が多発する作業別研修会を開催するとともに、安全・適正就業推進委員等による作業現場の巡回指導を実施し、就業中の事故防止に努めます。

イ 健康診断の受診を促すとともに、会員の健康状態の把握に努めます。

また、センターだよりを通じ、会員各自での健康管理を促します。

ウ 夏季の熱中症対策や事故多発時等に、必要に応じて啓發文書を配布し、会員への注意喚起に努めます。

(3) 適正就業の推進

ア 会員の就業は「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」と定められており、発注者と会員の理解を得ながらワークシェアリング等により適正就業ガイドラインの遵守に努めます。

イ 会員の就業内容等について点検を行い、不適正な就業があれば発注者及び会員への啓発により是正に努めます。

ウ 適正就業ガイドラインによる適正就業会員研修については、未受講会員並びに新入会員に対し、引き続き実施していきます。

(4) 就業機会の開拓推進

ア 会員の就業機会の拡大が不可欠であるため、地域社会の就業ニーズの把握を適確に行うとともに、配達地域指定郵便を活用した西脇市と多可町内の民間企業、家庭へのチラシの配布による就業の機会の掘り起こしを行い、就業機会の拡大に努めます。

イ ホームページの随時更新や新聞折り込みによるチラシの配布、西脇市と多可町の広報への広告の掲載等によりシルバー事業のPRを行い、新規就業の獲得に努めます。

ウ 新たな就業拡大として、西脇市と多可町で今年度より実施される、介護認定の要支援者に対する訪問型サービス（身体介護を含まない簡易な生活支援）に参入し、サービスの対象外となる家事支援等についても、取り組んでいきます。また、新たな会員加入を図り受注拡大に繋げるた

め、今年度も引き続き養成研修に取り組んでいきます。

(5) 女性会員の就業拡大

シルバー事業の活性化のためには、現在約 33%と低迷している女性会員比率の向上が必要です。そのためには、引き続き女性会員向けの子育て支援や家事援助事業、訪問型サービスの養成研修、女性交流会の開催に加え事務局だよりの発行等により女性会員の拡大に努めます。

(6) 会員拡大の推進

ア 西脇市・多可町内の公共施設を利用して、シルバー事業の説明会(市町広報誌掲載、配達地域指定郵便や新聞折り込み等によりPR)を開催し、会員の拡大に努めます。

また、現在就業中の人も参加しやすいように、3月には土曜・日曜等の休日にも説明会を開催します。

イ ホームページを通じて広く会員を募り、随時申し込みを受付けます。

ウ「自主・自立、共働・共助」の理念に沿って、「シルバー人材センターだより」に加えて「事務局だより」の発行による呼びかけを行い、会員による1人1会員勧誘運動の実施に努めます。

(7) シルバー派遣事業の実施

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業(シルバー派遣事業)の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者にシルバー派遣事業を実施します。

(8) 有料職業紹介事業の実施

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事業所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に職業紹介事業を実施します。

(9) 共益事業(会員親睦事業)実施への取り組み

会員の拡大と会員相互の連携をすすめ、シルバー人材センターのさらなる活性化を図るため、共益事業として会員親睦事業の平成30年度からの実施を目途に、具体的な検討をすすめます。